

# 第4次中期計画

(令和4年度～8年度)



人がつながる。知識ひろがる。

令和4年2月

公益社団法人 東海市シルバー人材センター

## はじめに

公益社団法人東海市シルバー人材センターは、平成24年4月1日に公益社団法人へ移行してから10年が経過します。「自主・自立、協働・共助」の基本理念のもと、自主的な組織参加と労働能力の発揮による生きがいの充実を図り、生活している地域で共に働き助け合うことで地域社会の活性化に貢献しながら、公益社団法人の名にふさわしい団体となるべく努力を重ねてまいりました。

平成24年度末に448人だった会員数は、平成29年度末には531人と順調に増加しましたが、それ以降は若干の減少傾向が見られます。高齢者人口が増加を続ける中、誰もがいくつになっても活躍できる社会の実現が求められており、シルバー人材センターの果たす役割は重要なものとなっています。そのような中、令和3年4月1日から、「改正高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」が施行され、70歳までの就業機会確保が企業の努力義務とされたことにより、新規入会者の高年齢化や登録者数の減少も懸念されますが、シルバー人材センターが、多様な価値観や志向を持つ高年齢者の受け皿として機能するため、従来にない仕事や働き方など、多様な就業機会を用意し、会員数の拡大を図っていかねばなりません。また、実効性のある就業事故対策、理事会や各種委員会活動の活性化など、様々な取り組みが必要となっています。

約2年にわたり、コロナ禍が続いている厳しい状況下ですが、この計画は、令和4年度から令和8年度までの5年間とし、ウイズコロナ、アフターコロナの時代へ向けて、「会員拡大と育成」「就業機会の拡大」「安全・適正就業の推進」「組織の強化及び財政の健全化」の各項目について、現状分析を行ったうえで洗い出した課題を解決し、設定した目標を達成するための方策を定めるものです。

今後、この計画を着実に実行していくために、役員、会員及び職員

が一丸となって目標達成に取り組んでまいりますので、市民や事業所などの発注者並びに東海市をはじめ関係機関の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

令和4年2月

公益社団法人  
東海市シルバー人材センター  
会 長 足 立 光 則

## 目 次

I	計画策定の目的	1
II	計画期間	1
III	基本方針	1
IV	現状及び課題・目標	2~10
1	会員の拡大と育成	2~4
ア	会員の拡大	2~3
イ	会員の育成	4
2	就業機会の拡大	5~7
ア	就業先の開拓	5~7
イ	独自事業の開拓	7
3	安全・適正就業の推進	8~9
ア	安全就業	8
イ	適正就業	9
4	組織の強化及び財源の確保	9~10
ア	組織の強化	9~10
イ	財源の確保	10
	おわりに	11

## I 計画策定の目的

シルバー人材センターは「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、高齢者に働く機会を提供し、高齢者の生きがいの充実や生活の安定、地域社会の発展や現役世代の下支えなどを推進することを目的としています。

人口減少、少子高齢化が急速に進展していく中、今後5年間のセンターが進むべき方向を明確にし、センター事業を着実に進めていくため計画を策定するものです。

## II 計画期間

令和4年度（2022年度）から令和8年度（2026年度）までの5年間とし、毎年の検証結果を踏まえ、必要に応じて見直すものとします。

## III 基本方針

### 1 会員の拡大と育成

多くの人材を確保するためにセンターのPRを積極的に行います。また、各種講習会や研修会を実施し、会員の知識・能力の向上に努めます。

### 2 就業機会の拡大

会員ニーズと発注者ニーズのマッチングにより、受注機会を逃がさないように努めます。

### 3 安全・適正就業の推進

会員の安全就業に対する意識の向上を図り、就業事故ゼロを目指します。また、適正就業ガイドラインに則った適正な就業の確保に努めます。

### 4 組織の強化及び財政の健全化

事務局機能を強化し、事業の拡大による事務費の増収に取り組むとともに、国や市からの必要な補助金を得ることにより、財政の健全化を図ります。

## IV 現状及び課題・目標

### 1 会員の拡大と育成

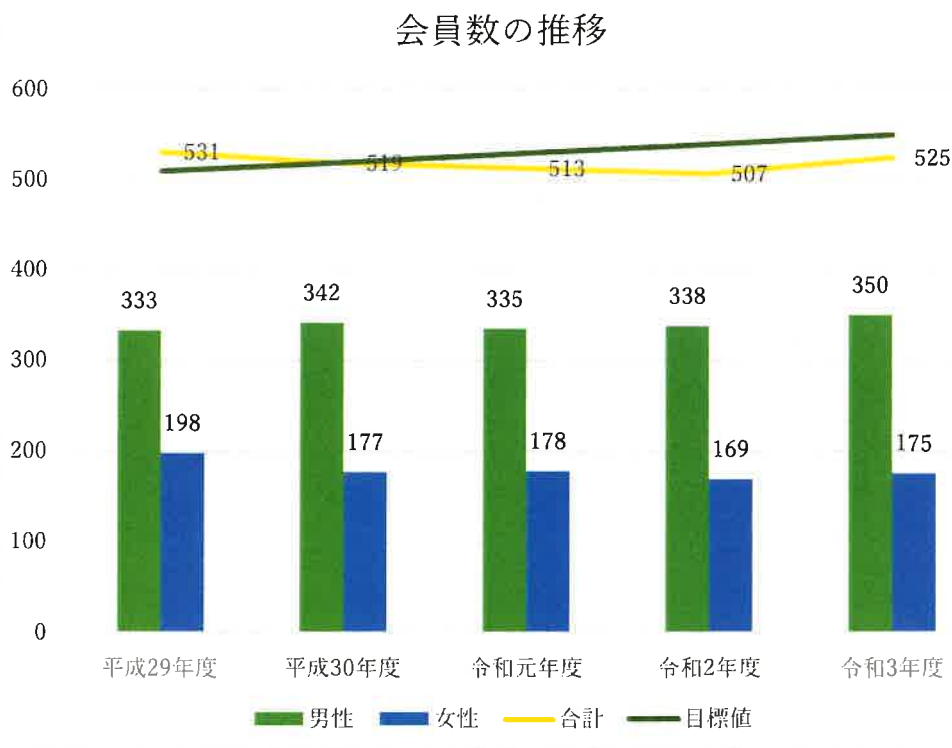
#### ア 会員の拡大

##### 【現状と課題】

企業の定年年齢の引き上げにより、60歳代の会員の獲得が非常に厳しい状況となっています。加えて会員の平均年齢も年々上昇しているため、今後は退会者が増えることが予想されます。

このような状況の中、会員拡大を進めていくためには、シルバー人材センターのイメージの向上、積極的なPR活動、会員による入会者紹介制度、退会者の抑制策など多くの施策を講じていく必要があります。

#### 第3次中期計画会員数の推移



※令和3年度数値は、年度末の見込数値

【目標】

(人)

中期計画	年度	会員数	増加数
第4次	令和4年度	550	25
	令和5年度	575	25
	令和6年度	600	25
	令和7年度	625	25
	令和8年度	650	25

【取り組むべき施策】

- ① ボランティア活動を積極的に実施し、社会貢献活動を行うことにより、シルバーの認知度の向上を図ります。
- ② シルバー人材センターの存在を多くの市民に知ってもらうため、市・市関連団体主催のイベント等へ積極的に参加します。
- ③ シルバーの活動風景の写真をホームページ掲載のほか、市民がよく訪れる施設に掲示し、より多くの市民に活動内容が分かるようPRに努めます。
- ④ 会員の口コミでの入会や夫婦揃っての入会を促進するため、会員紹介制度の導入を検討します。
- ⑤ 長期在籍会員のゴールド会員制度の創設を検討します。
- ⑥ サークル活動の充実やイベント等を開催し、就業以外でも特色のあるセンターづくりを進めます。
- ⑦ 毎月2回の入会説明会に加え、市内の各地域にて出張説明会を開催し、入会しやすい環境を整えます。
- ⑧ 入会説明会の案内チラシを従来の新聞折込のほか、高齢者がよく訪れる施設に設置します。

## イ 会員の育成

### 【現状と課題】

現在、シルバー事業の中心となっている清掃、除草、剪定の就業を希望する会員が年々減少しており、会員の高齢化も進んでいるため後継者不足が懸念されます。また、就業先での会員の言葉遣いやマナー等による苦情が度々発生しており、会員の質の向上が求められています。

### 【取り組むべき施策】

- ① 後継者不足が懸念される剪定、除草作業等屋外作業については、技能講習会を計画的に実施し、就業会員の確保に努めます。
- ② 就業先でのトラブルを減らすため、接遇講習等を実施することにより、会員の資質の向上を図ります。



## 2 就業機会の拡大

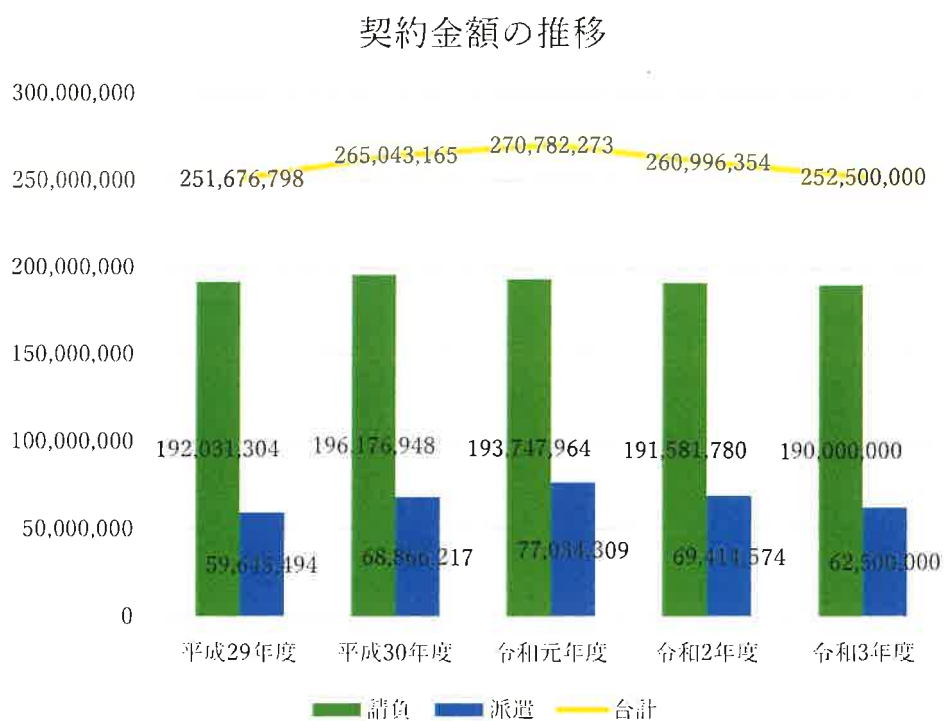
### ア 就業先の開拓

#### 【現状と課題】

草刈りや剪定など屋外作業の受注は安定していますが、ホワイトカラー層や女性の希望する事務的な仕事の受注は伸び悩んでいます。また、草刈りや剪定においても、就業会員の高齢化や減少により、顧客ニーズに十分に対応できていない状況です。

今後さらに就業機会を拡大していくためには、未就業者への就業斡旋、発注者のニーズに合った会員育成、会員の就業ニーズに沿った就業先の新規開拓を進めていく必要があります。

### 第3次中期計画契約金額の推移



※令和3年度数値は、年度末の見込数値

### 第3次中期計画就業延人員の推移

就業延人員の推移



※令和3年度数値は、年度末の見込数値

#### 【目標】

契約金額(受託事業及び派遣事業合計)

(千円)

中期計画	年度	契約金額	増加額
第4次	令和4年度	265,000	12,500
	令和5年度	277,000	12,000
	令和6年度	289,000	12,000
	令和7年度	301,000	12,000
	令和8年度	313,000	12,000

就業延人員(受託事業及び派遣事業合計)

(人日)

中期計画	年度	就業延人員	増加数
第4次	令和4年度	62,000	4,000
	令和5年度	66,000	4,000
	令和6年度	70,000	4,000
	令和7年度	74,000	4,000
	令和8年度	78,000	4,000

#### 【取り組むべき施策】

- ① 会員のニーズ調査を行い、「やりたい仕事」を把握することにより、発注者のニーズとのマッチングを図ります。
- ② 事務的作業などのホワイトカラー向け、女性会員向けの仕事の開拓を積極的に行います。
- ③ 福祉・家事援助サービス、子育て支援事業等の人手不足分野での就業の開拓に努めます。
- ④ 行政との連携を密にし、会員の希望が多い公共部門の就業の拡大を図ります。

#### イ 独自事業の開拓

##### 【現状と課題】

会員の特技を生かした就業機会の拡大と地域にセンターをPRするために、独自事業は非常に重要な事業となっています。

以前より、女性会員で構成する「シルばあ会」による小物製作販売を始めとして、「書道教室」と「編み物教室」を月2回、「刃物研ぎ」を月1回実施しています。また、令和3年度からは夏休みと冬休みに小学生を対象に教員経験のある会員による「宿題教室」を立ち上げました。

引き続きこれらの事業を継続していくとともに、地域のニーズにマッチした新規事業を展開していくことが必要となります。

##### 【取り組むべき施策】

- ① 既存の独自事業において、後継者不足が起きないように会員育成を行い、安定的な事業の継続を目指します。
- ② 他 SC の調査研究を実施し、地域の特性にマッチした新規事業を企画します。

### 3 安全・適正就業の推進

#### ア 安全就業

##### 【現状と課題】

安全就業を徹底するため、就業現場の巡回や講習会を開催するなど会員に対して安全啓発をしていますが、安全装備の不使用や不注意による事故、加齢に伴う身体機能の低下による怪我が発生しています。

特に、動力除草作業における飛び石事故や、就業途上の転倒事故は毎年多く発生しているため、重点的な対策が必要となっています。

##### 就業事故発生件数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
傷害事故	7	5	6	7	8
賠償事故	8	5	5	10	7
交通事故	2	0	0	0	3
計	17	10	11	17	18

※令和3年度数値は、1月31日現在の数値

##### 【目標】

令和4年度以降は、就業事故ゼロを目指します。

##### 【取り組むべき施策】

- ① 安全パトロールの実施を充実させ、作業手順のチェックや安全装備の使用の徹底を行います。
- ② 事務局が就業現場の実態を把握し、危険な作業等の是正を図ります。
- ③ 会員の安全意識の向上を図るため、計画的に講習会を実施します。
- ④ 交通安全講習会を行い、交通事故の防止に努めます。
- ⑤ 会員の健康維持のため、健康講座を開催します。

## イ 適正就業

### 【現状と課題】

公益法人であるシルバー人材センターにとって、コンプライアンスの徹底は義務であり民業との共存にもつながることから、適正就業を推進する必要があります。

会員及び発注者に対して「適正就業ガイドライン」の周知を徹底していますが、十分に浸透しているとは言い切れない状況です。

また、ワークシェアリングを推進し、就業率を向上させていく必要があります。

### 【取り組むべき施策】

- ① 会員及び発注者に「適正就業ガイドライン」を周知し、コンプライアンスに則った事業運営に努めます。
- ② ワークシェアリングを推進し、就業率 85%を目指します。

## 4 組織の強化及び財源の確保

### ア 組織の強化

#### 【現状と課題】

センター事業を拡大していくに当たって、事務局機能の強化は重要な課題です。センター職員が積極的に企画・運営に携われるように、定型の事務作業の効率化を図らなければなりません。

また、理事会・各種委員会活動等を活性化し、役員・会員・職員が一体となって、事業運営を進めていく必要があります。

#### 【取り組むべき施策】

- ① 新たな企画等に取り組むため、定型の事務作業の効率化を図ります。
- ② 理事会、委員会の活性化を図り、役員並びに一般会員が積極的に事業運営に参画できる組織を目指します。
- ③ 現在、3つある委員会の活動の見直しを図るとともに、必要に応じて新たな委員会の設置を検討します。

- ④ 各職群班の連携を強化し、情報の共有や作業の効率化に努めます。

## イ 財源の確保

### 【現状と課題】

センター事業を安定的に継続していくために、財源の確保は重要な課題です。就業拡大を進めることによる自己財源の確保のほか、経費の節減や国・市から得られる補助金を効率的に活用する必要があります。

事務費率については、令和2年4月に10%にアップしましたが、令和5年10月に始まるインボイス制度に向けて、検討が必要となっています。

### 【取り組むべき施策】

- ① 安定して財源を確保するため、就業拡大に積極的に取り組み、事務費及び派遣手数料収入を増やします。
- ② 費用対効果を常に意識して、経費の節減に努めます。
- ③ 社会情勢の変化に応じて、事務費率、派遣手数料の見直しを検討します。
- ④ 国庫補助金の獲得を最大限生かすため、市に対して適正な補助金を得られるよう要望します。

## お わ り に

新型コロナウイルス感染症の流行や企業の定年年齢の引上げ等、シルバー人材センターを取り巻く環境は非常に厳しさを増しています。このような環境に対応し事業を発展させていくため、今後5年間の基本目標となる中期計画を策定しました。

高齢者の皆様が、生きがいを感じながら楽しく仕事ができるセンターを目指していきます。是非、シルバー事業に積極的に参加くださるようお願いいたします。

令和4年2月

### 公益社団法人東海市シルバー人材センター 調査研究委員会

委員長	加	藤	道	也
委員	川	上	貴	士
//	神	野	典	子
//	精	松	慶	喜
//	浅	田	岩	夫
//	月	山	鈴	子
//	安	田	正	
//	村	井	か	ね 子
//	三	輪	鷹	雄

事務局

## 第 4 次 中 期 計 画

公益社団法人 東海市シルバー人材センター  
調査研究委員会

〒476-0003

東海市荒尾町西廻間 2 番地の 1

TEL (052) 603-1707 / FAX (052) 602-1788

E-mail tokai@sjc.ne.jp

ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/tokai/index>

2022 年 3 月発行